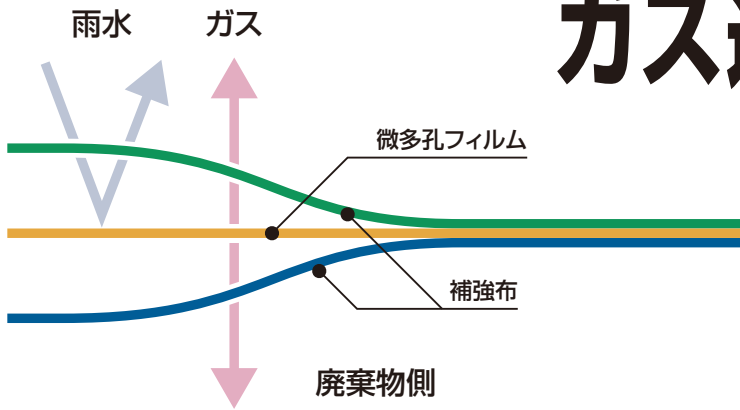


# ガス透過性防水シート



ガス透過性防水シートは、微多孔フィルムの両面に補強布を配した3層構造のシートで、補強布にはPE / PET 芯鞘二成分長繊維不織布を用いることによって優れた熱溶着性を備えており、また端部加熱圧縮加工を施すことで、ガス透過性防水シートとしての高い品質を確保しています。

## 特徴

- 1 ガス透過性防水シートは、遮水性とガス透過性の両機能を備えるシートです。
- 2 製品同士の接合は熱溶着が可能です。
- 3 溶着接合部においても、母材部と同程度の強度と優れた遮水性能を有しています。

## 標準物性表

<測定方法> ●質量・引張強度：JIS L 1908 ●貫入抵抗：ASTM D 4833 ●耐候性：JIS A 1415 WS形促進暴露試験 1,000hr 暴露後の  
●耐水度：低水圧法 JIS L 1092 (mmH<sub>2</sub>O) 高水圧法 JIS L 1092 (kPa) ●透湿度：A-1法 JIS L 1099

	質量 g/m <sup>2</sup>	引張強度 N/5cm		貫入抵抗 N	耐候性 (貫入抵抗) N	耐水度		透湿度 g/m <sup>2</sup> ・24h 24h換算	遮光性 %
		タテ	ヨコ			mmH <sub>2</sub> O	kPa		
環境省除染等工事共通仕様書	*400以上	*925以上	*925以上	*500以上	*500以上	1000		2500	*95以上
CP600/BGE	600	1200	925	600	600	2000以上	220	3000	95以上

\*日本遮水工協会が定める保護マ

### 工場加工状況



最大加工寸法：幅9.6m×長さ25m 重量：約160kg

### 荷姿 ※幅9.6m×長さ25mのシートを畳んだ場合



コンパクトに畳まれて出荷されます (パレットは付属しません)

## 評価証明結果

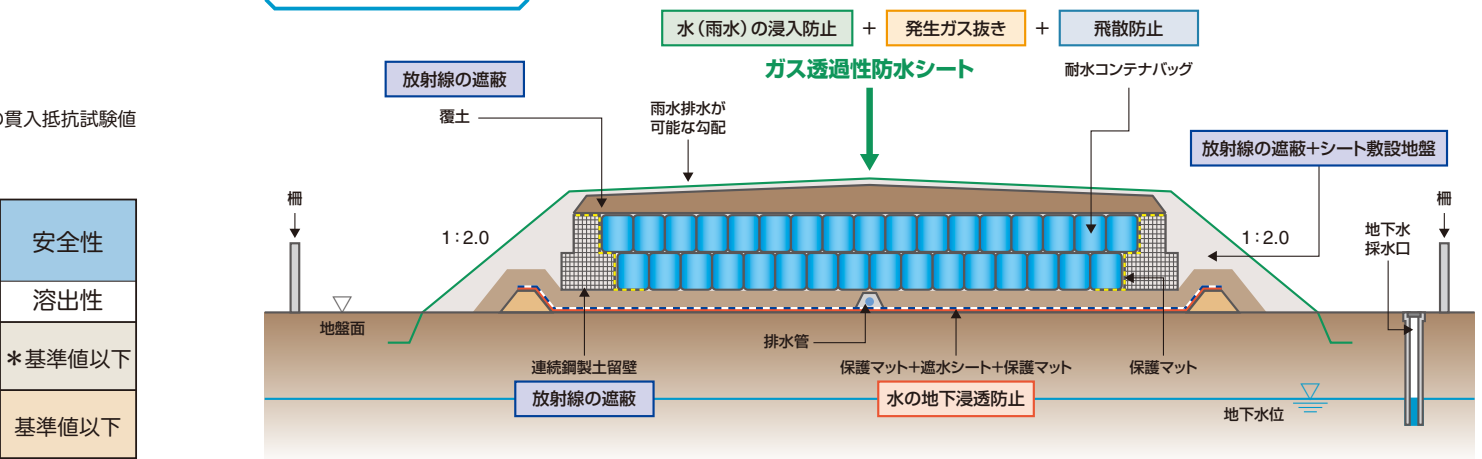
開発の目標を評価証明の方法に照らして評価した結果、「ガス透過性防水シートを用いたキャッピング工法」は以下の性能を有することが証明された。

- (1)標準的な接合方法（加熱圧縮処理された端部の自走式熱融着による接合）で構成されたガス透過性防水シート面が、50cmの水頭圧が加わっても漏水しないこと。
- (2)ガス透過性防水シートとその上部の覆土とで構成されるキャッピング層が面的なガス透過性を確保すること。
- (3)勾配1：2の斜面部においても、ガス透過性防水シート上部の覆土（厚さ50cm）の安定を確保すること。
- (4)重機による覆土施工や降雨等の履歴を受けた後も、ガス透過性防水シートを用いたキャッピングの遮水性、ガス透過性が初期性能と同等であること。

公益社団法人日本材料学会「地盤改良」に関わる技術評価証明 第1013号▶



## 模式図



安全性
溶出性
*基準値以下
基準値以下

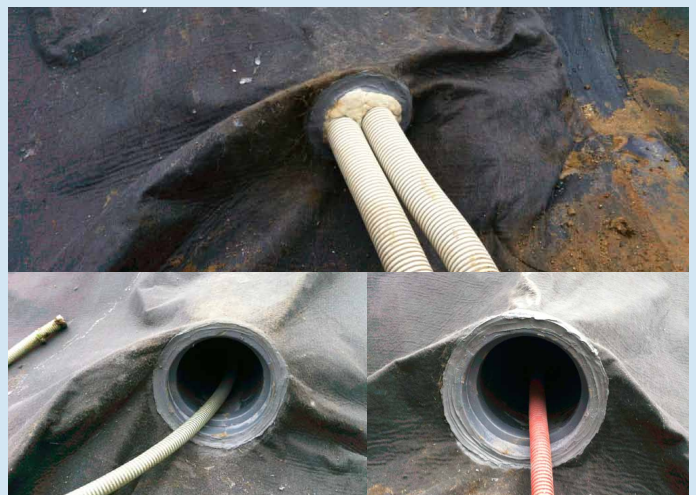
自主基準値

## ●現場施工状況



現場で溶着作業が可能です

## ●モニタリング管



内部浸出水、内部放射線をモニタリングできます